



【東京】東京都貨物輸送評価制度で「二つ星」を受けたトラスト・ウイン（星恵子社長、東京都狛江市）では、社会貢献やドライバー教育に力を入れるとともに、介護関連事業の拡充も図っている。

引越しから雑貨輸送まで幅広く手掛け、ワンボックス、軽トラック、2〜4トの平ボデー、ゲート付きウイングなど、多種多様な車両をそろえる。高級紙、電子部品、飲料など、様々

トラスト・ウイン

な荷物を扱った
めだ。

6年前にデジタルタコグラフやドライブレコーダーを全車に装着した。星社長は「細かい指導はしていないが、ドライバーが自主的に改善に取り組んでいる。4トトラックで燃費は1秒当たり6キ以上、2トだと7キ以上だが、年式が新しい



「二つ星」の評価証明書を掲げる星社長

「二つ星」の評価証明書を掲げる星社長

やりフォームを手掛けるトラスト・ワン（星謙一社長、同）を5年前に設立し、周辺業務の開拓も進めている。

9年前に創業。星氏はそれ以前に勤務した会社で、ドライバーから配車までこなしした経験を持つ。引越しも行っており、クレーム対応の経験から、家具補修業の精神」を徹底させてい

現在、拡充を進めているのは介護関連事業だ。トラスト・ウインでは介護職員実務者研修を提供する「トラスト・ライス・アカデミー」を2年前に開講し、厚生労働省の求職者支援制度の認定を受けている。トラスト・ワンでも介護リフォームを視野に入れる。

社会貢献・介護に注力

「助け合い」の社風生かす

「引越しは消費者対応があり、ドライバーも敬遠しがち。我が社は他のドライバーの業務についても情報共有し、言われなくても進んで仕事を『助け合い』の社風があり、引越しも手の空いた者が手助けに行く。そうした社風を生かし、介護に目を向けたサービス展開を図れるようにしたい」と意欲をみせる。

来年早々にも、介護職員実務者研修の有料講座を開設し、通信講座による教育とスクーリングの実務体験を始める予定だ。「開講できれば順次、ドライバーにも受講してもらい、高齢者介護の視点からサービスを充実させたい」と強調する。

（佐々木 健）